

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市加茂町文化センター
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北 520 名 称 一般財団法人津山市都市整備公社 代表者 理事長 谷口 智 (H25.4.1～高山文秀)
(3) 公の施設の所管部署	津山市教育委員会生涯学習部文化課
(4) 指定期間	平成23年4月1日 ～ 平成28年3月31日
(5) 評価対象期間	平成24年4月1日 ～ 平成25年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	13,114人 (前年度12,539人)
(2) 事業の内容	・施設管理業務及び自主文化事業等 (自主文化事業の内容) ピアノリレーコンサート, 映画上映会, 加茂郷コンサート, 陶芸教室, 星を観る会 ・年間稼働率71.0% (前年度85.2%)

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 16,171千円 (前年度15,350千円) 指定管理料 13,650千円 利用料金収入 1,494千円 自主事業収入 979千円 その他の収入 48千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 17,316千円 (前年度15,814千円) 主な支出 人件費 5,388千円 光熱水費 3,635千円 修繕・消耗品費等 480千円 委託料(施設管理) 4,810千円 事業費(自主事業) 1,886千円 公租公課 305千円 その他 812千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	利用者の利便性向上及び施設管理の充実を図るため、意見箱を常設し広く意見を求めている。また自主事業等の際にもアンケート調査を行い、反省材料と今後の事業展開の参考にしている。現況では、「利用に際しては、概ね満足している」との評価を受けている。
(2) 指定管理者の自己評価	加茂町文化センター運営委員会を開催し、地元住民の意見等を取り入れ、地域の特性を生かした文化事業を推進するとともに、今年度から新たに津山加茂郷フルマラソンのプレイベントとして津山加茂郷コンサートを開催した結果、各種事業ともに好評であった。施設の管理面では、監視カメラを設置し防犯に努め、節電を行い経費削減に努めた。これらのことから、良好に業務を推進したものと評価するが、収支が赤字となっているので、次年度以降は赤字改善に努めたい。

(3) 市の評価	指定管理2年目のH24年度においては、津山加茂郷フルマラソンオフィシャルプレイベントとして音楽コンサートを開催したり、新たに陶芸教室を開催したりするなど、指定管理者の努力が見られ、その結果来館者が増加した。 しかしながら、昨年に引き続き経営が赤字となり、年間稼働率も減少していることから、市民ニーズを踏まえた自主事業の実施などの創意工夫により、館の活性化に向けた積極的な取り組みを要望する。
----------	---